

■ 建築用断熱材「ウッドファイバー」

北海道産針葉樹の間伐材を原料にした、木造住宅用の断熱材です。断熱性が高く、さらに吸音性、安全性にも優れています。蓄熱性能により、室内の温度変化が穏やかになり、年間を通じて冷暖房費の節約に役立ちます。ウッドファイバー株式会社が開発・製造し、全国の建材販売店で購入できます。「北海道リサイクルブランド」に認定された製品で、道営住宅や道内の市町村営住宅でも使用されています。



■ 外断熱複合パネル「フライアッシュGPパネル」

石炭灰を原料とし再利用した外装材と、マテリアルリサイクルを実施している断熱材(EPS)で構成された、外断熱複合パネルです。通気層一体型と密着型の2タイプがあります。型枠材としての機能も備えていて、南洋材削減による森林保護にも貢献しています。躯体内結露を防止し、冷暖房効率を抑制しコンクリートの耐久性にも優れた工法です。岩倉化学工業株式会社が開発・製造し、代理店・商社などを経由して全国で販売されています。



北海道認定リサイクル製品を活用した

環境に優しい住まい

このマークが目印だよー！



10月は、リデュース・リユース・リサイクル(3R)推進月間。

北海道庁は、循環型社会の実現に向けて、道内で製造・販売され、道が定める基準を満たしたリサイクル製品を「北海道認定リサイクル製品」と認定し、なかでも特に、北海道らしい、優れた特性を持つ製品を「リサイクルブランド」として、利用の促進を図っています。今回は、数ある認定製品から、住宅に関わる製品をピックアップしてご紹介します。

お家の新築やリフォームをお考えの際、
取り入れてみてはいかがでしょうか？



北海道リサイクル
イメージキャラクター
くるりん



ぐりんちゃん

北海道認定リサイクル製品と各製品の問い合わせ先など、詳しくは以下のWebページをご覧ください。

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/tot/re/ninteiseido/ntop.htm>

また、11月5日・6日にアクセスサッポロで開催される「北海道ビジネスEXPO」で、その一部を実際にご覧いただけます。

■ 取材協力：北海道環境生活部環境局気候変動対策課

■ 床衝撃音用遮音パネル「SRFゴムチップ遮音パネル」

トラック、バス等の廃タイヤチップ(ヒジキ状)と建築廃材(針葉樹)チップを原料とした床衝撃音用遮音パネルです。戸建、マンションから公共施設まで幅広く使用されていて、木質フロアの階上の衝撃音を和らげます。このパネルを開発・製造するサンフロア工業株式会社では、同じものを原料とした、床暖房パネルや融雪パネル、L型階段パネルなども開発しています。



SRF遮音パネル

■ エコピリカを使用した「花器・置物・照明」

北海道認定リサイクル製品のなかには、ちょっとしたインテリアに使えるものもあります。全国の自治体や企業から回収し、リサイクル処理した蛍光灯のガラスカレット(エコピリカ)を原料に、流水硝子館ガラス工房が溶解・成形・徐冷を経て手作りで製造した花器・置物・照明などです。廃蛍光灯ガラスは、一般的なガラス生成材料より作業温度を低く抑えられたり、環境負荷の低減に役立っています。

